



豊水期を終え河川改修工事と復旧工事シーズンに入る

南武庫橋付近の下水管工事終了ご護岸工事？が始まった



日野地区災害復旧工事始まる。床止めブロック敷設



甲武橋上流堤防強化工事床止めブロック敷設



新橋下流側で河川公園工事が行われていた



百軒樋付近は表土が流されたまま

入り河川工事シーズンに入り、復旧工事と改修工事が始まった。施工者には復旧工事と改修工事の違いは明確になっているのかもしれないが、現場の掲示版を見ても一般市民にはその違いが分からないだろう。阪急鉄橋付近で進められている復旧工事も甲武橋上流の復旧工事の何れも根固めブロック敷設工事なのに何故かブロックの仕様が異なる。武庫川のまだら模様の護岸から想像すると、その場の特性に合わせたものか、設計者の考え方の違いによるものか気になる。新橋付近の復旧工事が終わり、宝塚市発注の河川敷公園復旧工事が行われていたが百軒樋付近の河原は石ころだらけで、昔人間には、これがホンマモンの武庫川に見える。公園には山土が盛られその上に芝を張る工事が行われているが、山土を取られた山がどうなるか考えると複雑な思いがする。